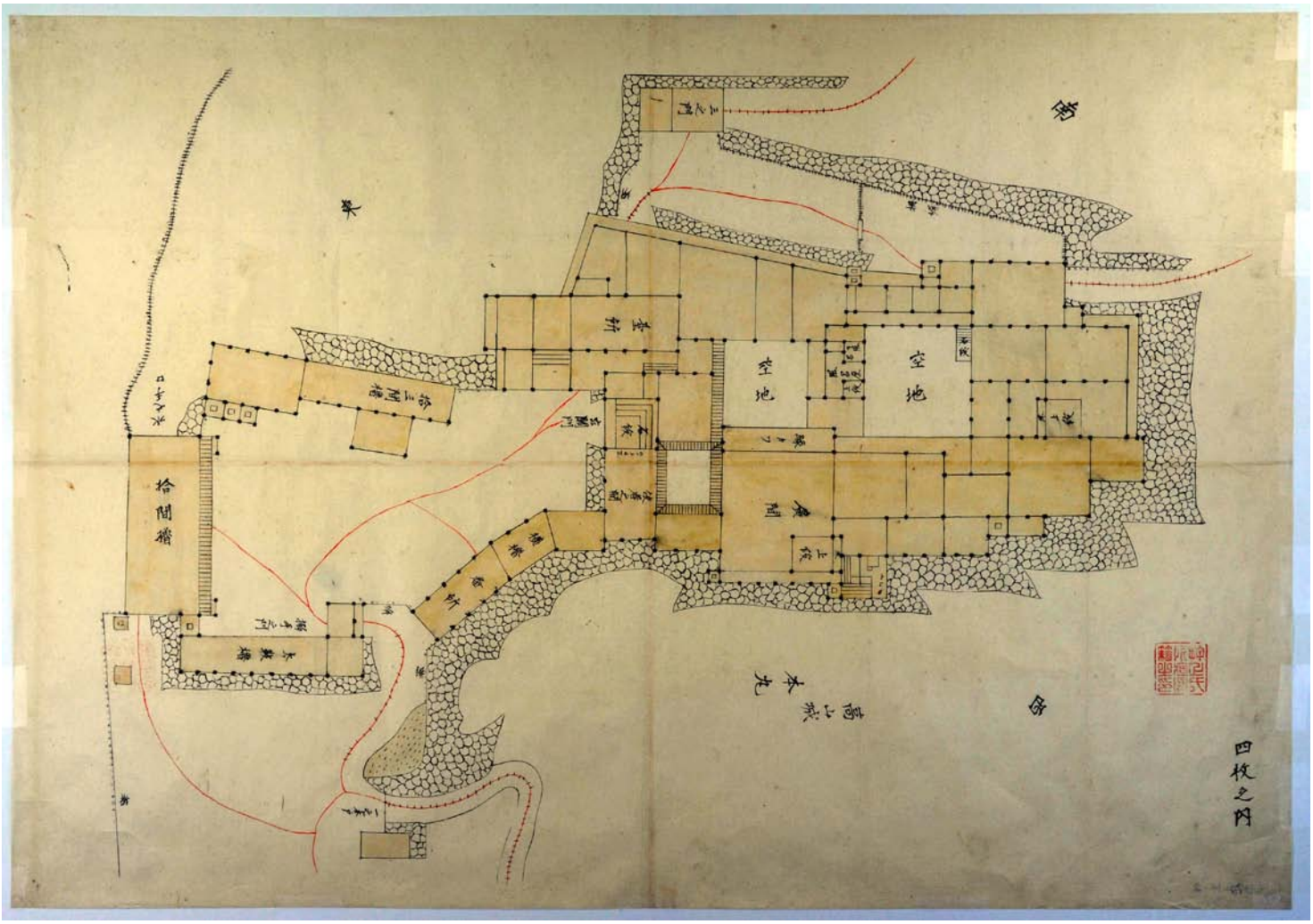

（第 40 図）

（38）高山城本丸、本丸屋形平面図（第 40 図）

年代　元禄 5～8 年
寸法　80.2×55.8
所蔵　原本は石川県立図書館、大正時代の写し・高山市教育委員会蔵

この図は本丸全体の図である。図上、下半分が本丸屋形の平面図で、図上、下部には「上段」と記された部屋あたりに望楼形の天守にあたる部分があった。空地が 2 カ所あり、図上、上部の「空地」下部には蒸し風呂の「風呂屋」が記される。図上、左部には茶室である「カコイ」があり、炉が切ってある。ここからの眺望はすばらしく、高山の城下町が一望できる。

図上、上部には「使者の間」が、右には台所がある。この床下は大手の通路となる。

本丸敷地の北側は、図上、右部が 13 間櫓、上が拾 10 間櫓、左が太鼓櫓、番所、横櫓と、三方を櫓で囲んだ曲輪となっている。

建物の方位は磁針によって決められていることが、昭和 60 年の発掘調査によって確認された。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。